

平成 28 年度
横浜市西スポーツセンター
事業計画書

公益財団法人横浜市体育協会

目次

1	基本方針	3
2	運営実施体制・職員配置について	3
3	施設の平等・公平な利用の確保について	4
4	施設の効用の最大限発揮について	5
5	施設管理について	8
6	安全管理について	9
7	地域との協力について	11
8	モニタリング計画について	12
9	管理運営経費について	12

平成 28 年度 横浜市西スポーツセンター事業計画書

1 基本方針

(1) 5つの基本方針

私たち体育協会は、第3期指定管理を臨むにあたり、施設の設置目的と理念、特徴、取り巻く環境、行政施策などを踏まえ、「区民・お客様」「西区」「指定管理者」の3つの視点から西スポーツセンター管理運営の5つの基本方針を策定しました。

- 基本方針① 新たなサービスを創出し、お客様が満足する施設運営をします
- 基本方針② 西区の健康づくりの取組と連動した施設運営をします
- 基本方針③ 地域と協力・連携したスポーツ振興事業等に取り組みます
- 基本方針④ 環境保護に配慮した安全安心快適な施設運営をします
- 基本方針⑤ 社会的責任活動に積極的に取り組みます

基本方針は、管理運営に係る全てのスタッフに浸透させ、どんな場面でもこの基本方針に立ち返ることで、次の目標を達成します。

(2) 平成 28 年度の数値目標

□延利用者数	325,000 人
□利用料金収入	63,280,000 円
□教室参加料収入	66,303,000 円
□健康増進プログラムの実施	年間 3,000 回以上

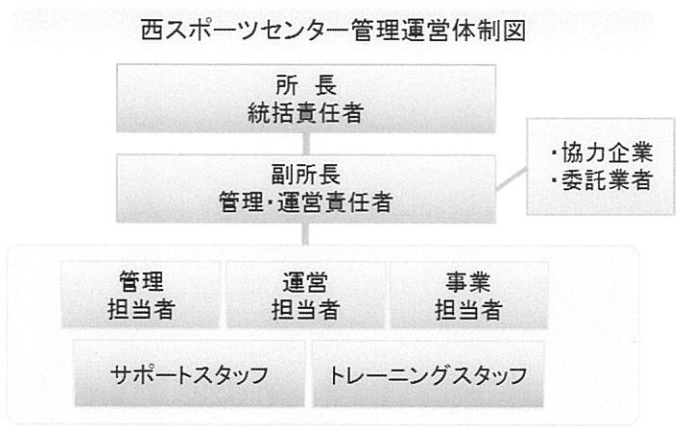
(3) 平成 28 年度の重点項目

- ア 施設の魅力づくり
- イ 障がい者スポーツ活動の支援
- ウ 建物劣化診断に基づく効果的な修繕の実施
- エ 多世代を対象とした事業の展開

2 運営実施体制・職員配置について

私たちは体育協会の総合力を活かして、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。また、専門性を要する設備維持管理業務は、安全・確実に行うために、豊富な実績と高い能力を有する専門業者に作業を委託します。

(1) 西スポーツセンターの管理運営体制



職務	人数	有する資格等
統括責任者(所長)	1	防火管理者、体育施設管理士ほか
運営責任者(副所長)	1	健康運動指導士、応急手当普及員ほか
管理担当	1	普通救命ほか
運営担当	1	普通救命ほか
事業担当	1	普通救命ほか
受付・事務スタッフ	1日7名	普通救命ほか
トレーニング室スタッフ	1日3名	普通救命ほか
プールスタッフ	1日3名	水上安全救助員ほか

※プール内の人数が多い(50人以上)時や繁忙期などは、プールサイドを3名監視とし、責任者を含め4名体制とします。

(2) 研修計画

下記の研修を実施します。

研修名	対象
心肺蘇生・AED操作研修	全スタッフ
ノーマライゼーション研修	全スタッフ
人権研修	全スタッフ
個人情報保護研修	全スタッフ
公共サービス従事者研修(条例等解釈、コンプライアンス)	全スタッフ
接遇研修	全スタッフ
インストラクター研修	指導職員、スタッフ
マネジメント研修	主任・副主任
警備講習	プールスタッフ

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(1) 施設の平等・公平な利用の確保に向けた取組

- ア 公共サービス従事者研修の実施
- イ 人権啓発推進者の配置、人権研修の実施
- ウ 条例解釈勉強会の実施(利用許可に関する理解の徹底)

(2) 誰にでもやさしいサービスの提供

- ア 元気でさわやかな挨拶と暖かい笑顔でお客様のお迎えとお見送りをします。
- イ 受付に「筆談具」「老眼鏡」「コミュニケーションボード」を用意します。
- ウ 施設利用案内やリーフレットに、「英語表記版」を作成し、外国人のお客様へ配布します。
- エ 散在する自転車をなくすことで、安全・安心な歩行空間を確保します。
- オ だれにでもわかりやすい外国語・絵文字・ふり仮名を使用した案内サインを掲示します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 広報・利用促進計画

施設特性と周辺環境を最大限に活用し、お客様に魅力溢れるスポーツプログラムを提供し、スポーツに親しむ機会を増やします。

ア 広報計画

教室や事業各々の募集開始時期や進捗状況等を踏まえながら、紙媒体やウェブへの広告掲載など戦略的・計画的な広報活動を展開します。

イ 利用促進策

- ・ 濱ともカードによる高齢者の利用促進

横浜市健康福祉局「優待施設利用促進事業」に協力し、65歳以上の方を対象に毎月5日・15日に、カード提示でトレーニング室の利用料金300円を100円割引きます。

- ・ ロビーの有効活用

ロビーを有効活用したパネル展示やミニコンサート等を行います。

- ・ 託児つき教室の実施

子育て世代のスポーツ教室参加者を対象に、託児サービスを実施します。

- ・ 回数券の販売

1回分のプレミアムをつけた回数券を引き続き販売します。

- ・ ウォーキングステーション

ランニング・ウォーキングステーションとしてスポーツセンターを基点としたコースマップの配布やロッカーの貸し出しを行い、西区民の健康増進に寄与します。

(2) 教室計画

私たちは西区民のスポーツ実施率を高めるために、公益スポーツ団体の強みである多様目・多世代への豊富なプログラムによって教室事業を構成します。

西区の人口特性や区民アンケートの結果を受け、高齢者を対象とした健康づくり教室や介護予防・姿勢改善などの予防改善教室を実施します。また、育児がしやすく、子どもが健やかに育つ環境づくりについても目を向け、乳幼児や子育て世代を対象とした教室や託児事業を実施します。

■教室事業一覧(定期教室・当日受付教室・イベント)

	教室名	種別	対象	託児	期数	年間回数	曜日	時間区分	会場	募集人数
1	朝の体操	事前	50歳以上	なし	4	46	火	A	メイン	40
2	火曜ピラティス	事前	16歳以上	あり	4	46	火	B	サブ	45
3	火曜ZUMBA	当日	16歳以上	あり	4	46	火	B	サブ	40
4	肩こり腰痛ストレッチ	当日	16歳以上	あり	4	46	火	B	研修室	20
5	骨盤改善エクササイズ	当日	16歳以上	あり	4	46	火	B	研修室	20
6	クローラ初級・中級	事前	16歳以上	なし	4	46	火	C	プール	30
7	火曜アクアビクス	事前	16歳以上	なし	4	46	火	C	プール	30
8	社交ダンス初級	事前	16歳以上	なし	4	46	火	C	サブ	40
9	社交ダンス中級	事前	16歳以上	なし	4	46	火	C	サブ	40
10	フラダンス入門	事前	16歳以上	なし	4	46	火	D	サブ	40
11	キッズ器械体操スクール	事前	年中・年長	なし	4	46	火	D	メイン	25
12	ジュニア器械体操スクール	事前	小学生	なし	4	46	火	D	メイン	25
13	バスケットボールクリニック1	事前	小学1～3年生	なし	4	46	火	E	メイン	20
14	バスケットボールクリニック2	事前	小学4～6年生	なし	4	46	火	E	メイン	20
15	火曜ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	なし	4	46	火	E	プール	60
16	火曜ジュニアスイミングスクール	事前	小学生・中学生	なし	4	46	火	E	プール	50
17	四泳法初級・中級	事前	16歳以上	なし	4	46	火	F	プール	30
18	四泳法上級	事前	16歳以上	なし	4	46	火	F	プール	30
19	エアロビクス初級	当日	16歳以上	なし	4	47	水	A	サブ	40
20	ベビーマッサージ&産後ビューティー	事前	1歳未満と保護者	なし	4	47	水	A	サブ	40
21	かんたんピラティス	事前	16歳以上	あり	4	47	水	B	サブ	45
22	水曜ヨーガ	事前	16歳以上	あり	4	47	水	B	サブ	45
23	水曜アクアビクス	事前	16歳以上	あり	4	47	水	B	プール	30
24	水中健康歩行	事前	16歳以上	あり	4	47	水	B	プール	30
25	水彩画	事前	16歳以上	なし	4	20	水	C	研修室	20
26	水彩色鉛筆画	事前	16歳以上	なし	4	20	水	D	研修室	20
27	歌声健康	当日	50歳以上	なし	4	20	水	C	研修室	20
28	水曜らくらく体操	事前	50歳以上	なし	4	47	水	C	メイン	70
29	キッズたいいく塾1	事前	年少～年長	なし	4	47	水	D	メイン	40
30	キッズたいいく塾2	事前	年少～年長	なし	4	47	水	D	メイン	40
31	水曜キッズスイム	事前	年少～年長	なし	4	47	水	D	プール	42
32	水曜キッズスイミングスクール	事前	年少～年長	なし	4	47	水	D	プール	36
33	キッズサッカー	事前	年少～年長	なし	4	47	水	E	メイン	20
34	ジュニアサッカー	事前	小学1～3年生	なし	4	47	水	E	メイン	20
35	キッズHIPHOP	事前	年長～小学2年	なし	4	47	水	E	サブ	30
36	ジュニアHIPHOP	事前	小学3～6年	なし	4	47	水	E	サブ	30
37	水曜ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	なし	4	47	水	E	プール	60
38	水曜ジュニアスイミングスクール	事前	小学生・中学生	なし	4	47	水	E	プール	50
39	フラダンス初級	事前	16歳以上	なし	4	47	水	F	サブ	40
40	水曜ピラティス	事前	16歳以上	なし	4	47	水	F	サブ	40
41	背泳ぎ入門	当日	16歳以上	なし	4	47	木	A	プール	15
42	木曜アクアビクス	事前	16歳以上	なし	4	47	木	A	プール	30
43	卓球	事前	16歳以上	なし	4	47	木	B	メイン	24
44	木曜ヨーガ	事前	16歳以上	なし	4	47	木	B	サブ	45
45	木曜ZUMBA	当日	16歳以上	なし	4	47	木	B	サブ	40
46	絵手紙	事前	16歳以上	なし	4	40	木	B	研修室	20
47	木曜キッズスイム	事前	年少～年長	なし	4	47	木	D	プール	42
48	木曜キッズスイミングスクール	事前	年少～年長	なし	4	47	木	D	プール	36
49	キッズ器械体操	事前	年中・年長	なし	4	47	木	D	メイン	40
50	ジュニア器械体操	事前	小学生	なし	4	47	木	D	メイン	40
51	キッズチア	事前	年少～年長	なし	4	47	木	D	サブ	30
52	ジュニアチア	事前	小学生	なし	4	47	木	D	サブ	30
53	英語でリトミック はいはい	事前	あんよがまだの子と保護者	なし	4	48	金	B	研修室	20
54	英語でリトミック あんよ	事前	あんよの子と保護者	なし	4	48	金	B	メイン	40
55	気功太極拳	事前	16歳以上	なし	4	48	金	B	メイン	49
56	わんぱく親子ママビューティー	事前	2～3歳と保護者	なし	4	48	金	B	サブ	40
57	よちよち親子フィットリトミック	事前	8か月～2歳と保護者	なし	4	48	金	B	サブ	35
58	リンパトリートメント	当日	16歳以上	なし	4	48	金	B	研修室	20
59	健康塾	当日	50歳以上	なし	4	48	金	B	研修室	20
60	金曜らくらく体操	事前	50歳以上	なし	4	48	金	C	メイン	40
61	キッズバレエ	事前	年少～年長	なし	4	48	金	D	研修室	20
62	ジュニアバレエ	事前	小学1～4年	なし	4	48	金	D	研修室	20
63	金曜キッズスイム	事前	年少～年長	なし	4	48	金	D	プール	42
64	金曜キッズスイミングスクール	事前	年少～年長	なし	4	48	金	D	プール	36
65	金曜ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	なし	4	48	金	E	プール	60
66	金曜ジュニアスイミングスクール	事前	小学生・中学生	なし	4	48	金	E	プール	50
67	生活習慣病予防改善	事前	40歳以上	なし	4	48	土	A	メイン	50
68	土曜ボクサタイム	当日	16歳以上	なし	4	48	土	B	サブ	40
69	土曜ヨーガ	事前	16歳以上	なし	4	48	土	B	サブ	45
70	日曜ボクサタイム	当日	16歳以上	なし	4	22	日	C	サブ	40
71	託児(火)	当日	2歳以上～未就学児	なし	4	46	火	B	その他	6
72	託児(水)	当日	2歳以上～未就学児	なし	4	46	水	B	その他	6

(3) お客様への支援策

お客様の利用目的を的確に汲み取り、適切な対応を素早く行うとともに、楽しく、安全に利用していただけるよう、お客様本位の快適で柔軟な施設運営を実現します。

ア スポーツ相談の実施

運動の方法、指導者紹介、サークル設立に向けたアドバイスなどを行います。

イ 団体・サークル活動への支援

「横浜スポーツ・レクリエーションフェスティバル」において、ダンスや体操などで活動する地元スポーツサークルの成果発表を実施します。

ウ 空き情報の提供

館内掲示、ホームページ等のインターネットで、随時各体育室の空き情報を提供します。

エ 他施設利用料金支払いへの対応

複数施設のご利用には、当体育協会が管理するスポーツセンターの利用料金が一括精算できるようにします。

オ トレーニング支援

初めてご利用される方には、インストラクターが健康状態やトレーニングの目的などを聞き、利用方法などを丁寧に説明します。また、希望されるお客様に対し、トレーニングメニューを作成します。

カ 多彩な支払方法電子マネーの導入

Suica・PASMO等の電子マネーによる支払いのほか、インターネットによる教室参加申込者は、クレジットによる支払いを可能とします。

(4) 自主事業計画

ア 時間外事業

月曜から土曜までの早朝（午前7時30分から）・夜間（午後11時まで）と日曜・祝日の早朝営業を実施します。

イ 飲食事業

飲食事業として飲料の自動販売機を設置します。自動販売機は電子マネー端末併設、災害用ベンダー機等を備えたものを継続して導入します。

ウ 物販・レンタル事業

多様な種目で利用されるお客様に対し、魅力的な商品を揃えます。また、手軽にスポーツセンターで運動できるように、ラケット・シューズなどのスポーツ用具の貸し出しを行います。

エ 年末年始の開館

スポーツ施設条例施行規則で定められている12月28日から翌年1月4日までの8日間の休館日を、12月29日から翌年1月4日までの7日間とし、1日間営業日を拡大します。

オ 派遣事業の実施

西区民の健康志向を高め、活力ある明るい元気なまちにするため、地域に出向いた派遣事業を積極的に実施します。

(5) スポーツ医科学に基づくサービスの実施

当体育協会は、西スポーツセンターにおける健康増進施設及び指定運動療法施設の運営者として認定されています。引き続き、スポーツ医科学に基づくサービスを積極的に展開します。

5 施設管理について

(1) 施設の点検計画

ア 日常点検

日常点検チェックシートに基づいて、点検項目と回数、ルート等を定め、職員が1日6回目視・触診等により行い、異常・不具合箇所、遺失物の早期発見に努めます。

イ 定期点検

施設の老朽化に伴い、建物・設備維持管理の品質保持のために、協力企業である設備維持管理業者に点検業務を委託します。定期点検の結果、不具合箇所が発見された場合は、西区地域振興課に至急報告します。

(2) 修繕計画

平成28年度実施する修繕計画は次のとおりです。基準額（税込540万円）を上回る見積額を伴う場合でも、コストバランスを考慮のうえで執行が可能と判断できる場合は、西区地域振興課と事前に協議し当体育協会負担による修繕を検討します。

予定する修繕	場所	内容
ロビー等床面修繕	ロビー等	Pタイル等剥離箇所の修繕
トイレ修繕	2階、3階トイレ	水漏れ等故障箇所の修繕

(3) 清掃計画

予防清掃により汚損の発生頻度を少なくし、管理コスト縮減と快適性を保持します。

■ 日常清掃計画

清掃箇所	頻度
衛生設備(トイレ、更衣室、シャワー室 等)の洗浄	1日3~6回
体育室	適宜(モップ清掃は1日6回)
ロビー、廊下、自動販売機周辺	1日1回以上
プール水底	1日1回以上
窓、鏡	適宜
器具倉庫、機械室	1日1回以上
事務室	適宜
出入りロマット	1日1回以上

■ 定期清掃計画

清掃箇所	内容	回数
床清掃(通常)	材質にあわせた清掃方法で汚れ箇所を重点的に実施する 洗浄(モルタル等): 除塵し、モップがけ 洗浄・ワックス(タイル部等): 除塵、ポリッシャー・ワックスがけ カーペット(カーペット部): シャンピングまたはクリーニング	4回/年
床定期清掃(はく離)	通常清掃でワックス掛けを行っている部分の汚れ・ワックスをはく離	1回/年
ガラス・鏡	洗剤にて汚れを落とし、水切りして拭き取る	4回/年
シャワー室壁面	壁面の汚れの除去、床面や排水溝のゴミの除去を行う。 年2回シャワーヘッドの分解清掃を実施する	12回/年
換気扇・ガラリ	付着したホコリ等を除去し、適性な換気能力を維持する	1回/年
プール内特別清掃	水槽内の水抜き時の清掃	1回/年

(4) 備品管理

「横浜市西スポーツセンター指定管理者 業務の基準」及び「横浜市西スポーツセンターの管理運営に関する基本協定書」に基づき、適正な管理を行い良好な状態に保ちます。

管理に際しては、横浜市が所有する備品（I種）と自己の費用により購入又は調達した備品

(Ⅱ種)を区別して帳票に記載します。

(5) 外構管理計画

外構の点検は、落ち葉清掃や害虫発生、マンホールや点字ブロックの浮きを1日2回以上実施し、状態を確認します。不具合や危険箇所を発見した場合は、直ちにフェンスなどの設置により「触れない」「近寄らない」などといった安全確保を行い、早急な対応を行いません。

(6) 植栽管理計画

日常的な植栽点検や建物周囲の落ち葉清掃は、外構点検に併せて行います。

樹木の剪定作業等は、高所作業や、専用薬剤の散布など高度な専門的技術を伴う施工が必要となるため、樹木管理を専門とする業者に当該作業を委託します。

■植栽管理業務

植栽管理	内容	実施月
高・中木剪定	樹木の育成状況により適宜剪定を実施	7月
低木刈込	枝つめ・枝すかしを行う。樹木の基本の形を整え、余分な枝を取り除く	7月
ツリーサークル部	人力による除草を実施	7・9月
手取り除草	人力による除草を実施	9月
落葉高木剪定	樹木の育成状況により適宜選定を実施	1月
藤棚	樹木の育成状況により適宜選定・誘引を実施	1月

(7) 環境保全計画

環境保全行動を推進し温室効果ガスを削減します。

- グリーン電力の購入
- 正面入口でのグリーンカーテンの設置
- はまっ子どうしの販売を通じた水源保全活動の支援

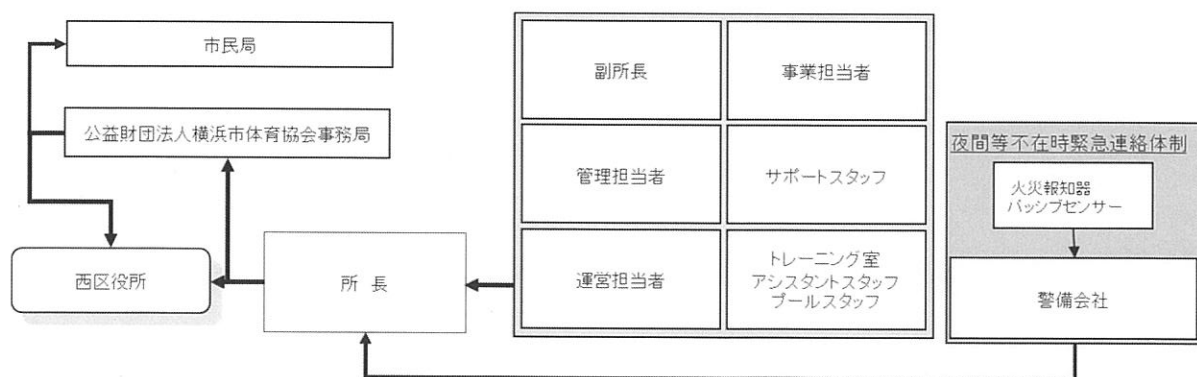
6 安全管理について

(1) 危機管理体制

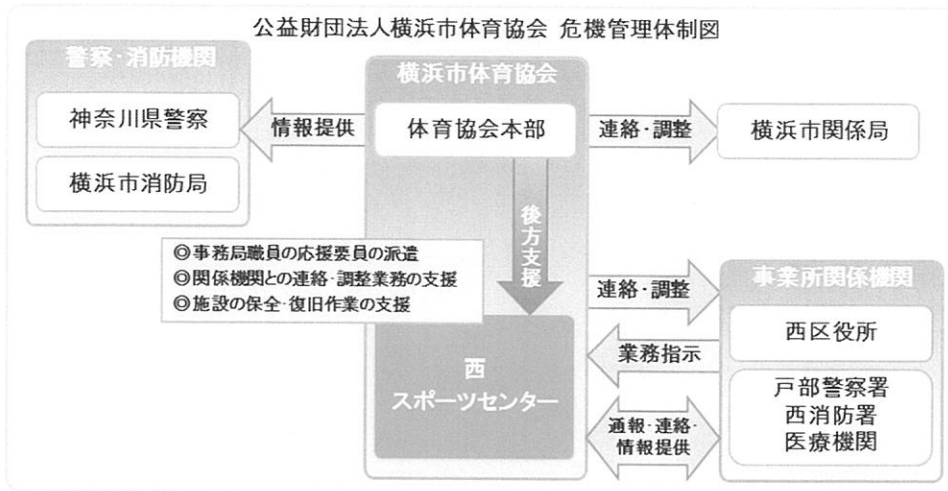
緊急時において迅速かつ効果的な対応を行うため、危機管理体制を確立します。

また、施設での緊急連絡体制とともに体育協会全体の危機管理組織体制を確立し行動します。

■緊急時の連絡体制



■危機管理体制



(2) 日常安全管理

日常点検計画に基づき、施設巡回点検を実施します。また、消防計画に基づき自衛消防隊による消防訓練を年2回実施します。

- ・ 消火訓練又は、参集訓練 1回
- ・ 避難誘導訓練 1回

(3) 緊急・救急体制及び通常時の体制

ア 急病人及び負傷者への対応

急病人や負傷者が発生した場合は、即時に現場に急行し初期対応します。重篤と判断した場合はレシーバーを用いて他の職員に救急車の要請を指示するとともに、必要に応じてAEDを持ってくる旨を指示します。救急隊の到着まで、一次救命措置を行います。

イ 軽症者への対応

軽症者は、救護室等で応急処置を行った後、近隣病院などを紹介します。

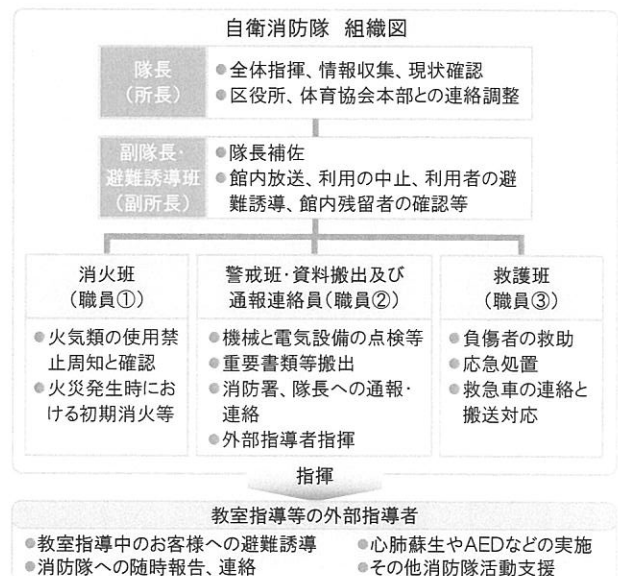
ウ 有資格者の配置と訓練

常勤職員は、横浜市消防長認定の応急手当普及員の資格取得者を配置し、西スポーツセンターに従事する全職員を対象に心肺蘇生法・AED操作研修を実施します。

(4) 災害発生時の体制と迅速な対応

「災害対応マニュアル」及び「災害時等における施設利用の協力に関する協定」に基づき行動します。

また、災害時の万全な対応を可能とするために、西スポーツセンターの消防計画を策定し、自衛消防隊を組織します。災害発生時は、自衛消防隊の各役割のもと、お客様の安全確保を第一に避難誘導や応急救護等の行動を迅速かつ的確に行います。



(5) 休館日・夜間（閉館後）警備体制

休館日・夜間の施設内外の警備は、外部からの建物内侵入を阻止するために、神奈川県公安委員会から認定を受けた警備業者による機械警備及び巡回警備を実施します。常時セットする機械警備での警戒に加え、夜間に1回の巡回を実施し、直接現場確認をするようにします。

巡回警備時には施錠の確認のほか、人の潜伏や火種がないかを特に注意します。

(6) 補償体制

建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等に起因して、お客様に身体的傷害や財物損壊を与えた場合に備え、施設賠償責任保険に加入します。

■ 加入する施設賠償責任保険

保険種類	保険内容	補償限度額
施設賠償責任保険	施設側の瑕疵により、お客様に対する身体及び物品等に被害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円、1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円、期間中1億円

7 地域との協力について

(1) 地域支援の取組

- ア 地域住民等のニーズの把握
- イ 身近な場所でスポーツに親しめる機会の提供
- ウ ウオーキングを活用した地域の健康づくり
- エ 子どもの体力向上への取組
- オ 障がい者スポーツの支援
- カ 地域における健康づくりに関する講演・派遣事業
- キ 地域指導者の養成と育成
- ク 地域へのスポーツ用品の無料貸出

(2) 地域連携に対する取組

- ア 地域スポーツ団体や区民との協力・連携体制
- イ 地域団体等との協力・連携によるスポーツ振興
- ウ お客様・近隣住民・事業所との定期的な会合
- エ 西区の地域特性に合わせた事業の実施
- オ 横浜市及び西区との協力・連携した事業
- カ 地域住民による事業協力
- キ 地域との連携による防災・防犯への取組

(3) 地域貢献の取組

- ア 地域活動への協力
- イ 区民還元事業（無料）の実施
- ウ 収益を地域におけるスポーツ振興に充当
- エ 地元住民等からスタッフの雇用や指導者の登用
- オ 地元教育機関や商工団体等との連携
- カ 高齢者・障がい者等の社会活動の促進
- キ 環境保全活動への取組

8 モニタリング計画について

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上に繋がります。

項目	内容	時期・頻度
お客様アンケート	各種商品やサービスなどお客様に満足度を調査	2回／年
ご意見箱	施設受付付近に誰でも自由に記載できるアンケート	常時
市コールセンター	市コールセンターに設置されているご意見ダイヤル	常時
オープンミーティング	区のスポーツ振興に関する各主体との意見交換会	1回／年
第三者評価	市指定の評価及び独自取組としての外部評価	1回／5年

9 管理運営経費について

別紙、収支予算書に基づき、適正に執行していきます。

横浜市体育協会では、西スポーツセンターの光熱水費の節約対策を引き続き検討してまいります。

収支予算書

1 総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。 (千円、税込み)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	120,851						
利用料金収入	53,255						
利用料金収入(駐車場)	6,710						
スポーツ教室等事業収入	60,492						
広告業務収入	90						
自主事業還元収入	304						
②自主事業による収入	28,259						
スポーツ教室等事業(時間外)	5,811						
飲食事業	0						
物販事業(自販機)	4,266						
物販事業(レンタル)	422						
物販事業(物販)	5,000						
利用料金収入(時間外)	10,025						
利用料金収入(駐車場)(時間外)	2,669						
派遣事業	66						
合計(①+②)	149,110						

(2)支出 (千円、税込み)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	214,851						
人件費	44,064						
修繕費	5,400						
設備管理費・保安警備費	18,073						
備品購入費・消耗品費	7,170						
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,613						
広報費・印刷製本費	2,160						
光熱水費・燃料費	42,846						
保険料	3,287						
使用料・賃借料	11,450						
委託料・謝金	72,307						
公租公課	230						
その他	6,251						
④自主事業による経費	27,955						
スポーツ教室等事業(時間外)	5,244						
飲食事業	0						
物販事業(自販機)	610						
物販事業(レンタル)	65						
物販事業(物販)	4,841						
施設利用(時間外)	16,219						
施設利用(駐車場)(時間外)	965						
派遣事業	11						
合計(③+④)	242,806						

(3) 指定管理料 (千円、税込み)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	94,000						

※ 自主事業の内訳は、様式22、23の事業ごとに記載してください。

収支予算書

2 指定管理・収入の部(平成28年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
合計 (A)		120,851	
利用料金収入		53,255	
項 目	メインアリーナ貸切利用	平成26年度実績に準拠(稼働率、実収入率) A区分347コマ×87.9%(団体稼働率)×@2,000×95.2%(実収入率) (580千円) B区分347コマ×84.1%×@2,000×95.5% (557千円) C区分347コマ×90.5%×@2,000×96.7% (607千円) D区分347コマ×93.1%×@1,500×96.7% (468千円) E区分346コマ×93.6%×@2,000×97.8% (633千円) F区分346コマ×95.1%×@2,500×100.0% (822千円)	3,667
	サブアリーナ貸切利用	平成26年度実績に準拠(稼働率、実収入率) A区分347コマ×82.4%(団体稼働率)×@1,000×99.3%(実収入率) (283千円) B区分347コマ×96.5%×@1,000×99.4% (332千円) C区分347コマ×97.4%×@1,000×99.7% (336千円) D区分347コマ×96.8%×@1,000×99.7% (334千円) E区分346コマ×89.3%×@1,000×99.7% (308千円) F区分346コマ×90.5%×@1,000×100.0% (313千円)	1,906
	研修室貸切利用	平成26年度実績に準拠(稼働率、実収入率) A区分347コマ×68.3%(団体稼働率)×@700×96.0%(実収入率) (159千円) B区分347コマ×86.7%×@700×97.2% (204千円) C区分347コマ×71.8%×@700×95.8% (167千円) D区分347コマ×61.7%×@700×96.0% (143千円) E区分346コマ×80.6%×@700×97.8% (190千円) F区分346コマ×73.7%×@700×98.2% (175千円)	1,038
	プール貸切利用	平成26年度実績に準拠(稼働率、実収入率) A区分2,082コマ×13.0%(団体稼働率)×@3,000×97.2%(実収入率) (789千円) B区分2,082コマ×12.7%×@3,000×96.6% (766千円) C区分2,082コマ×14.5%×@3,000×96.4% (873千円) D区分2,082コマ×16.7%×@3,000×93.7% (977千円) E区分2,082コマ×18.3%×@3,000×95.8% (1,095千円) F区分2,082コマ×12.7%×@3,000×99.6% (790千円)	5,290
	メインアリーナ個人利用	平成26年度実績に準拠 メインアリーナ個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	30
	トレーニング室個人利用	利用予定人数(48,855人)×26年度平均利用単価(283.1円)÷13,830,000円 ※利用予定人数 平成26年度実績×101%	13,830
	プール個人利用	平成26年度実績に準拠 プール個人利用収入	26,296
	付帯設備	平成26年度実績に準拠 放送設備、照明設備、レンタルロッカー等	1,198
	利用料金収入(駐車場)	平成26年度実績×101%	6,710
	スポーツ教室等事業収入	・スポーツ教室収入(59,444千円) ・文化教室収入(846千円) ・託児収入(202千円)	60,492
広告業務収入	自動販売機設置業者広告ポスター収入	90	
自主事業還元収入	自主事業利益の充当額	304	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)		120,851
指定管理料 (B)		94,000
収入合計 (A)+(B)		214,851

収支予算書

3 指定管理・支出の部(平成28年度)

		積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			214,851
項 目	人件費	・常勤職員報酬(報酬、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 統括責任者 1名 管理運営責任者(副責任者) 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金)	44,064
	修繕費	維持管理運営費用修繕費指定額による	5,400
	設備管理費	委託業者見積による	16,670
	保安警備費	委託業者見積による	1,403
	備品購入費	オリンピック・パラリンピックPRボード 他	2,009
	消耗品費	施設運営消耗品、教室消耗品、駐車場消耗品	5,161
	外構・植栽管理費	委託業者見積による	1,452
	廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用、大型ゴミ処分費用	161
	広報費	広告年4回 他	1,080
	印刷製本費	施設リーフレット作成 他	1,080
	光熱水費	電気代、水道代、ガス代	42,827
	燃料費	自家用発電機燃料軽油	19
	保険料	保険会社見積による(施設賠償責任保険、レクリエーション保険)	3,287
	使用料・賃借料	教室施設利用料、AEDレンタル料、NHK受信料 他	11,450
	委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	49,386
	謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金、外部有識者謝金	22,921
	公租公課費	法人税、事業所税、収入印紙代他	230
	旅費	事務局等への交通費等	12
	通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	506
	支払手数料	集配手数料、振込手数料 他	731
会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料 他	216	
租税公課	売上に係る仮受消費税等と仕入に係る仮払消費税等の差額分	4,786	

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(平成28年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			28,259
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室収入	5,811
	飲食事業		0
	物販事業(自動販売機)	平成26年度実績×101% 自動販売機:屋内設置10台、屋外設置1台 計11台	4,266
	物販事業(レンタル)	平成26年度実績×101% 卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ、コピー機使用代 他	422
	物販事業(物品販売)	スポーツメーカー協賛物販収入 バドミントンシャトル、卓球ボール、ヒールカバー、インディアカ羽球・スペア、はまちゃん体操映像ソフト・音声ソフト・テキスト、スポーツメーカー協賛物販 他	5,000
	利用料金収入(時間外)	貸館収入(2,608千円)、個人利用収入(7,417千円)	10,025
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	平成26年度実績×101%	2,669
	健康教室派遣事業	地域団体からの依頼による派遣に伴う収入	66

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(平成28年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			27,955
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業支出	5,244
	飲食事業		0
	物販事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台、屋外設置1台 計11台 目的外使用料、電気代	610
	物販事業(レンタル)	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	65
	物販事業(物品販売)	バドミントンシャトル、卓球ボール、ヒールカバー、インディアカ羽球・スペア、スポーツメーカー協賛物販等購入代	4,841
	施設利用(時間外)	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費、水面監視業務委託費	16,219
	施設利用(駐車場)(時間外)	駐車場管理委託費、消耗品購入代	965
	健康教室派遣事業	派遣業務に伴う交通費	11

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。